

造影 CT 検査承認書

今回の検査は、造影剤を使用します。

造影検査の利点は、病気の状態を一層はっきりさせることです。造影剤には副作用が起こる可能性がありますが、万が一副作用が現れた場合には、すぐに医師・看護師などが対応できる万全な準備態勢のもとに検査を実施しますのでご安心ください。

喘息などのアレルギー歴のある方や、以前の検査で副作用があった方は副作用が出やすくなります。

以下の質問にお答えください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1) 喘息・アトピー・花粉症等のアレルギー | (有・無・不明) |
| 2) 腎臓が悪いと言われた事が | (有・無・不明) |
| 3) 現在糖尿病薬を | (飲んでいる・飲んでいない) |
| 4) 甲状腺に異常が | (有・無・不明) |
| 5) 以前の造影検査で副作用が | (有・無・不明) |

造影剤の副作用についてご説明します。

- 1 造影剤を注射すると一時的に身体が熱くなりますが心配ありません。
- 2 100 人に 3 人ほどの方が吐き気・不快感・発赤・かゆみなどの一時的な症状があります。
- 3 10 万～40 万人に 1 人ほどの割合で治療を要する重篤な反応を起こす事があります。
重篤な反応：ショック・呼吸困難・咽頭浮腫・喉頭浮腫・腎不全・痙攣発作
- 4 まれに検査後時間がたってから気分が悪くなったり、じんましん、かゆみなどがでる事があります。(遅発性副作用) そのような症状が現れた場合にはご連絡ください。
- 5 まれに造影剤が血管外に漏れ、注射部位の腫れ、痛み、内出血を起こす事があります。
通常、造影剤は自然に吸収され、少量の場合は処置を必要としませんが、多量の場合は切開等の手術が必要になる事があります。

万一、副作用が生じた場合は、保険診療として最善の処置、治療を行います。

以上のように造影剤による副作用の危険を考慮しても造影検査が必要になるのは、造影検査により明確な画像診断が可能になり、病気を更到的に診断し、正確かつ最良の治療方針をたてるために役立つと判断されるからです。造影剤の必要性を十分にご理解いただいた上で検査にご同意いただければ、ご署名をお願いいたします。

_____ 病院・医院の _____ 医師から造影検査に際し、造影剤使用の必要性および使用により起こりうる合併症について説明を受けました。そして、この検査が治療上必要である事を理解し、この検査を受けることを了解しました。

兵庫県立西宮病院長 様

年 月 日

患者様ご署名 _____